

科目名	歴史Ⅱ History II			担当教員	権藤 典明 (窓口教員：河野通弘)		
学年	2年	学期	通年	履修条件	必修	単位数	2
分野	一般	授業形式	講義	科目番号	14120013	単位区分	履修単位
学習目標	現代に生きるわれわれと直接に関わる、近代以降のわが国社会の歴史の変遷について講義することによって、自国の歴史や文化についての理解を深めてもらうことを目標とする。						
進め方	プリントを用いて講義を行い、歴史的事項の背景や因果関係、およびその影響などについて解説する。教科書と副読本の図版は、諸君の歴史に関するイメージを深めてくれるであろう。						
学習内容	学習項目（時間数）			学習到達目標			
	1. 近代国家の形成と発展（16） (1) 明治初年の諸改革 (2) 立憲政治をめざして (3) 憲法制定と議会の開設 (4) 東アジアの国際環境と条約改正 (5) 日清戦争と日露戦争 ----- 前期中間試験			自由民権、明治憲法と初期議会、明治中期以降における外交関係、日清戦争と日露戦争、およびその前後の国内政治に関する基本的事項を理解する。 学習・教育目標：(A)			
	2. 第一次世界大戦とデモクラシー（12） (1) 第一次世界大戦と大正デモクラシー (2) 国際協調と軍縮の進展 (3) 政党政治の時代 3. 第二次世界大戦と日本(2) (1) 昭和恐慌と国際協調のゆきづまり ----- 前期末試験			第一次護憲運動、第一次世界大戦とわが国の関係、ヴェルサイユ体制とワシントン体制、大戦後の国内政治、および昭和初期の経済と対外関係について基本的事項を理解している。 学習・教育目標：(A)			
	2. 第二次世界大戦と日本(14) (1) 満州事変から国際的孤立へ (2) 軍部の台頭と日中戦争 (3) 軍部の台頭と日中戦争 (4) 第二次世界大戦と世界新秩序 (5) 太平洋戦争 ----- 後期中間試験			軍部の台頭から日中戦争にいたるプロセス、戦争下の政治と国民生活、太平洋戦争、およびわが国が終戦をむかえるまでのプロセスについて基本的な事項を理解する。 学習・教育目標：(A)			
	4. 占領下の日本（10） (1) 占領政策の展開 (2) 政治・経済の再建 (3) 独立の回復 5. 日本の自立と経済成長(8) (1) 55年体制の成立 (2) 高度経済成長 ----- 後期末試験			占領下に行われた諸改革、政治と経済の再建、サンフランシスコ講和条約調印にいたるプロセス、および55年体制、昭和30年代以降の高度経済成長に関する基本的な事項を理解する。 学習・教育目標：(A)			
	後期末試験						
評価方法	評価は年4回の定期試験の成90%、受講態度を10%で行う。成績不振者には再試験を実施する。学習項目の全体評価への重みは、1～5のそれぞれについて25%、20%、30%、13%、12%とする。						
履修要件	特になし						
関連科目	歴史Ⅰ（1年） → 歴史Ⅱ（2年） → 人文科学Ⅲ（4年）						
教材	教科書：現代の日本史（東京書籍）、副読本：図説日本史（東京書籍）						
備考							